

清高生にとっての清瀬高校

近隣の高校受験指導塾の皆様、本日はご来校いただきまして、ありがとうございます。



47期生徒会長の大野将仁です。私は清瀬市で生まれ育ち、清瀬第3小学校、清瀬第2中学校と進学し、清瀬市内の学習塾で受験指導を受けました。



学校行事が熱い

主な学校行事には体育大会・合唱コンクール・清高祭があります。運動・体育系が得意な生徒も文化・芸術系が得意な生徒も、誰もが輝ける場が設けられていて、実行委員会やクラス行事委員の分担では自分の得意とする分野で自分の力を発揮している生徒が多くなります。私が中学生の時も志望校の決め手となったのが、やはり学校行事でした。

清瀬高校の学校行事は、「そこそこ盛り上がる行事」ではなく、「この上なく盛り上がる熱い行事」です。生徒一人一人が得意な分野・行事で自分の力を発揮し、さらにその力を伸ばす。これこそが「清瀬で伸ばす」ということです。

部活動が熱い

少林寺拳法部、ダンス部、ソフトテニス部、美術部、写真部は強豪校として全国大会に出場。

ハンドボール部女子、関東大会出場、都ベスト4。

サッカー部女子も清瀬史上初の都ベスト16。

多くの部活動が高実績を残しています。高校1年生から、新しいことを始めている生徒も多く、初めて出会う部活動への「おもしろそう」から、東京、関東、全国にまで可能性は広がります。高校1年生から始めた少林寺拳法部3年の2名は東京オリンピックの日本の武道演武で披露することが決定し、世界にまで清瀬高校少林寺拳法部の名を轟かせます。

本校でやりたいことを見つけ、自分の可能性を広げる。これこそが「清瀬で拓く」ということです。

進学指導が熱い

これをぜひ、中学生の皆さんにお伝えしていただきたいです！

せつかく高校に進学するなら、なんとなく決めて、なんとなく過ぎて、なんとなく大学進学をするのではなく、将来を見据えて、高校受験という選択をするのが理想だと思います。将来何になりたいのか、どういう大人になりたいのか。それが決まっていなかったら、それが見つけられるような高校なのか。見つかったら、実現させるためのサポートができる高校なのか。そこを決め手にしてほしいと私は強く思います。

清瀬高校は国公立と私立、推薦入試や一般入試、近年増加する入試形態に適応し、GTEC®、進研模試(共テ・記述)、ベネッセコーポレーションの方との成績分析、推薦入試のための面接指導など、進路指導が充実しています。その中で、私たち3年生が指導して頂いていることは、難関国公立、難関私立大にただ合格することではなく、**将来の夢を叶えるための努力と「チャレンジ」**をすることです。今まさに、私自身が「夢」のためにチャレンジをしています。

最後に、「チャレンジ」というものは、自分に熱意と自信がないとできないものだと思います。前記した通り、清高生は学校行事や部活動、全てのことに熱を持って取り組みます。この熱量が糧となり、粘り強さとなり、自信となり、夢の実現のための「チャレンジ」に繋がっていくのだと思います。大人になって振り返ってみた時、清瀬高校での3年間は、納得のいく、価値の高いものであるに違いありません。

「届かなそう、でも手を伸ばす。掴み取る、自信と力を育む。」清瀬高校はそんな学校です。

47期生徒会長 大野将仁